

平成28年度 実施事業の概要

施設名： 国立妙高青少年自然の家
教育事業名： 学社共同参画セミナーⅠ・Ⅱ
期間：平成28年8月17日（水）～8月19日（金）（2泊3日） 平成29年2月17日（金）～2月19日（日）（2泊3日）
対象及び参加人数：学校教育、社会教育の指導者をめざす大学生Ⅰ：16名Ⅱ：10名
目的： 教員等を志す学生に対し、社会教育に関する演習を実施し、事業の企画・運営・評価を実践的に学ぶ機会を提供する。
事業概要： 妙高の特色である森・山・川を活用した自然体験活動を体験し、その基礎技術や指導技術を取得できるようにするとともに、社会教育事業としての企画・運営・評価を学べるようにする。 特に、体験による学びの手法を中心に演習し、事業推進の観点を重視し実施する。 国立妙高青少年自然の家の活動プログラムを活用して、夏季の自然観察や源流体験及び野外炊事、冬季の雪上活動をとおして自然環境について体感することができるようにする。 野外活動等における安全管理について学ぶ。
成果： 上越教育大学、信州大学、国際自然環境アウトドア専門学校から参加者を得て、妙高青少年自然の家のダイナミックな自然を使用し、自然体験活動の基礎技術や指導技術の習得を図った。 夏季は、源流探検、ストレートハイクを行い、冬季は坪岳ハイキング、雪中泊を行った。実際の体験をとおして、事業における企画・運営・評価を学ぶ機会を提供できた。 夏季は、特に企画立案の観点からグループワークを実施し、冬季はマネジメントを中心にグループワークを展開することで、夏季と冬季の連続性をもたせたプログラム展開を行うことができ、参加者の満足度も非常に高いものとなった。 次期学習指導要領の改訂に盛り込まれた「社会に開かれた教育課程」において、社会教育の重要性が更に高まることが予想されるが、今後の教育事情を踏まえ次年度以降も教員志望の参加者の確保に務めたい。

課題： 受講生の減少傾向がある。広報の仕方や、プログラムの充実を図り、より多くの大学生が参加しやすいようにしていく必要がある。